

視察（研修）報告書

令和5年 7月 18日

府中市議会議長 様

会派名 創生会

日 時	令和5年7月18日
視察（研修）先	広島県総務局・教育委員会
視察（研修）項目	広島県のDX推進について・高等学校の在り方について
参 加 者	創生会・公明党 議員
視察（研修）内容	広島県のDX推進について 1. 広島県の目指すDX デジタル技術を活用して、県民生活に係るあらゆる分野においてビジネスモデル、オペレーション、組織文化などの在り方に変革を起こすことによって、新たな価値を生み出し、県民の暮らしを豊かにする。 2. 令和5年度の件の取り組み 62事業 約84億円 3. 取り組みのスタンス 広島県の目指す姿を共有し、実現に向けて取り組みの実践を小さな単位で繰り返し、その成功や失敗の経験を活かしながら、目指す姿を実現していく。 4. 取り組みに向けた現状分析 県内では事業者の約5割が、DXへの取り組みの必要性は感じているが、まだ取り組めていない。広島県でデジタル技術を活用した事業変革に取り組んでいる企業の割合は28.3%。 5. 広島県DX推進に向けた取り組み。 デジタル投資の推進 人材確保育成の促進 自立的な取り組みの実践を支える環境整備 6. 県と市町の協働によるDXの推進 課題を解決するために、県・市長情報人材研究会を発展改組し、令和5年度から、県市町で協働してDXを推進し。デジタル人材を採用活用する枠組みとしてDXshipひろし

	まを構築する。 7. 県と市町の協働による DX の推進として 情報システム人材採用・育成・活用 県市町との DX 推進 情報共有、システム最適化、DX 推進 体制整備を整えて人材プール・シェア/人事交流を図る。 今後の県立高等学校の在り方の関わる基本計画 社会の変化。高校の状況、卒業後の状況、海外留学の状況をかんがみて今後の在り方 10 年計画案を考える。 知医学卒業者数の減少や県立高校教育の役割、県立高校の教育の目指す姿として生徒の学びや県立高校教育における人材育成を考え、県立高等学校が目指す姿を実現するために、 1. 将来の夢や希望をもって学び、その実現に向けた学力を定着向上をはかる 2. 社会人・職業人として自立するために必要な資源・能力の育成 3. グローバル社会に生きる力の育成 県立高校の課題・学科等の在り方 全日生家庭として普通科の在り方を今後検討する 専門学科として職業系専門学科の在り方について検討する 中高一貫教育校については市立中学校と県立高等学校が連携した取り組み成果を検証し新たな指定も検討する。 県立高校の取り巻く状況についての説明 国内出生数推移 令和 4 年度 770747 人 中学 3 年生在籍者数の推移 令和 5 25221 人 10 年後 3600 人減少 県立高等学校（全日制）一部を除き定員割れの状況
--	--

所 感	広島県の DX 推進について 府中市DX 推進は他市町に比べると進んでいるとの評価であった。MY 府中のアプリは他市町でも関心時となっているようです。今後はDX 推進を図るためには広島県との人材交流を図り、あらゆる分野への DX 推進の取り組みができれば組織や業務改善、防災減災、医療・介護、教育また観光や農林水産業等の改革・改善ができると考える。 県立高校の在り方に係る基本計画 人口減少、少子化は府中市においても厳しい現実。少子化と定員割れする高校がこのまま推移すれば 5 年後には府中市の県立高校も統廃合や募集停止にならざる負えない現実がある。早期に普通科の在り方の検討をして、専門学科等の設立で新たな魅力のある高校、そして生徒たちに選ばれる学校を目指すことも必要と考える。
-------------------	--